

多治見市議会における審議経過（概要報告）

1 多治見市議会第 7 次総合計画策定特別委員会における審議状況について

(1) 特別委員会（分科会）

①第 1 分科会

政策の柱 ⑤市民が互いに助け合い学び合うまちづくり（全 17 事業終了）

政策を実行・実現する行財政運営（全 14 事業終了）

	開催日	審議時間
第 1 回	8 月 12 日（水）	10:00～16:56
第 2 回	8 月 19 日（水）	10:01～11:46

②第 2 分科会

政策の柱 ③にぎわいと活力のあるまちづくり（全 26 事業終了）

政策の柱 ④安全・安心で快適に暮らせるまちづくり（全 58 事業終了）

	開催日	審議時間
第 1 回	8 月 3 日（月）	10:03～16:35
第 2 回	8 月 10 日（月）	10:00～15:35
第 3 回	8 月 17 日（月）	10:00～17:59

③第 3 分科会

政策の柱 ①安心して子育て・子育てするまちづくり（全 38 事業終了）

政策の柱 ②健康で元気に暮らせるまちづくり（全 21 事業終了）

	開催日	審議時間
第 1 回	7 月 31 日（金）	10:01～15:13
第 2 回	8 月 7 日（金）	10:00～14:42
第 3 回	8 月 21 日（金）	10:00～14:15

(2) 特別委員会（全体会）

	開催日	審議時間
第 1 回	8 月 25 日（火）	15:15～18:00
第 2 回	9 月 11 日（金）	
予備日	9 月 24 日（木）	

2 主な審議内容

(1) 全体会において再審議することとなった基本計画事業及び主な意見

政策の柱① 安心して子育て・子育てするまちづくり

1	基本計画事業	2-1 支援を必要とする子どもの保育と、特別保育（一時、休日、病後児）を充実します
	論点	女性活躍会議でも要望があった「病児保育」は働く母親を支援する策として有効であり追加する必要がある。
2	基本計画事業	4-1 きめ細やかな教育を行うために、30 人程度学級を中学校 2 年生に拡大し、全学年で実施します
	論点	平成 19 年 9 月議会にて、更なる拡大の際は十分検証した上で実施する旨の付帯決議（※）がついており、全体会で改めて審議する必要がある。 ※分科会終了後に確認した結果、付帯決議ではなく、付託委員会及び本会議において慎重に進める事を要望する旨の賛成討論がおこなわれたものであった。
3	基本計画事業	5-3 小泉小学校を建て替えます
	論点	小泉小学校建て替えは唐突感がある。本来、学校施設整備方針を策定した上で基本計画事業の追加を行うべきではないか。

政策の柱② 健康で元気に暮らせるまちづくり

特になし

政策の柱③ にぎわいと活力のあるまちづくり

1	施策	施策 1 地場産業の支援（新規追加）
	論点	基本構想で触れられている原料確保難など美濃焼の作り手側の支援が欠けている。「窯業原料の確保をはじめ、美濃焼の安定的な生産体制を支援します」を新たに追加する必要がある。
2	基本計画事業	2-1 長瀬テクノパークを整備し、企業を誘致します 2-2 雇用や経済波及効果を拡大するため、様々な支援策を活用して企業誘致を進めます
	論点	2-2 は企業誘致事業全体を包括し、2-1 は長瀬テクノパークを強調するために特出しているとのことだが意図が伝わり難い。2-2 の文言を修正または、基本計画事業を並び替えるなど工夫できないか。

3	施策	施策 4 にぎわい創出(新規追加)
	論点	施策 4 「にぎわい創出」の基本計画事業はハード事業しかなく、商業施設出店などを促す基本計画事業を追加すべきではないか。

政策の柱④ 安全・安心で快適に暮らせるまちづくり

1	基本計画事業	5-2 再生可能エネルギーの導入などにより、地球温暖化対策を進めるとともに、効果的な高気温対策を検討します
	論点	高気温対策は市民の関心事であることから、地球温暖化対策と、高気温対策を2つの基本計画事業に分けるべきではないか。

政策の柱⑤ 市民が互いに助け合い学び合うまちづくり

1	基本計画事業	1-2 タイムライン（浸水事前防災行動計画）を活用し、市民、企業と連携した事前防災活動体制を構築します
	論点	タイムラインに関する市民認知が低いため、「浸水事前防災行動計画（タイムライン）」と修正すべきではないか。
2	基本計画事業	1-3 防災倉庫を指定避難所に計画的に設置するとともに、民間企業などに対し設置場所の提供を要請します
	論点	指定避難場所は風水害と地震災害とに分かれている。防災倉庫の整備は地震災害に関する指定避難場所で行うため、「指定避難場所（地震災害）」など地震災害時の指定避難所を対象としていることがわかるよう修正すべきでないか。
3	基本計画事業	1-5 危険箇所の情報を共有するとともに、緊急時に気象警報や避難勧告情報をFM放送などで迅速に提供します
	論点	危険箇所の情報を共有することは平常時に行うことであるため、「平常時に危険箇所の情報を共有するとともに、緊急時には…」と修正すべきではないか。
4	基本計画事業	2-1 市民主体の生涯学習活動を支援し、地域や市民のニーズを反映した生涯学習の場のあり方を検討します
	論点	多くの議員提案に未設置校区（執行部として、全小学校区に公民館を設置する方針はないため、現状が「未設置」という見解ではない旨を回答）での公民館建設があげられているため、全体会で議論を行うべき。

※ただし、審議未了により9月11日に再度審議が行われます。

政策を執行・実現する行財政運営

審議未了 ※9月11日に審議予定

(2) その他の主な意見

政策の柱① 安心して子育て・子育てするまちづくり

1	基本計画事業	5-1 学校施設整備方針を策定し、老朽化した学校施設を計画的に整備します
	論点	単なる老朽化の修繕だけでなく、教育環境の充実に向け「健全な教育環境の充実を図るため」などと変更するべきではないか。
	結論	老朽化に伴う施設整備は学校施設にとって安全面からも重要な課題である。賛否両論あったが、多数決により否決された。
2	基本計画事業	5-1 学校施設整備方針を策定し、老朽化した学校施設を計画的に整備します
	論点	全小中学校へのエアコン設置に向けた検討を含めるべきではないか。
	結論	設置費用・維持費用が大きく、7次総前期では設置検討を行う予定がないため、基本計画としては取り上げない。

政策の柱② 健康で元気に暮らせるまちづくり

特になし

政策の柱③ にぎわいと活力のあるまちづくり

1	基本計画事業	1-1 美濃焼のブランド力の向上や販路開拓に取り組む積極的な事業者を支援します
	論点	タイル業界への支援についても明確化するため、「美濃焼及びタイル」と修正すべきではないか。
	結論	この地域においてタイルも含むやきものの総称を美濃焼としている。業界においてもそのように理解されており修正は不要。
2	基本計画事業	1-4 世界に誇る美濃焼の中心都市として国際陶磁器フェスティバルを開催し、その魅力を発信します
	論点	国際陶磁器フェスティバルは東濃3市の事業であるため、「東濃3市」など他の2市に配慮した表現を入れるべきではないか。
	結論	3市の共催事業であることは明白。6次総においても特段の配慮はされていない。多治見市の計画であり、2市への配慮は不要。
3	施策・基本計画事業	3-3 中心市街地の商店街などに求められる機能や役割を調査・検討し、ニーズに応じた活性化策を実施します
	論点	施策3「市内産業の支援」に分類されているが、施策4「にぎわいの創出」の分類が適切ではないか。
	結論	商店街も市内の地域産業であるため、施策3のままとする。

政策の柱④ 安全・安心で快適に暮らせるまちづくり

1	基本計画	4-4 駅北土地区画整理事業区域内の都市計画道路において、無電柱化を進めます
	論点	無電柱化は施策4「防災対策」ではなく、施策8「都市景観の形成」ではないか。
	結論	第6次総合計画では、景観としていたが、東日本大震災を契機に国も防災面での整備の視点が強くなったため。
2	施策	施策6 緑化推進
	論点	緑化を推進するための人材を育成する事業を追加する必要があるのではないか。
	結論	施策6-2 市民参加による貴重な緑の保全、緑化推進などにより人財育成は進めて行くことで了解を得た。
3	施策	施策12 居住環境の整備
	論点	中心市街地に若者や高齢者の居住環境の整備として、市営住宅の建設や、市営住宅の補完機能としての民間共同住宅の活用策を基本計画事業として追加してはどうか。
	結論	提案に対し修正の必要はないとの発言は1名あったが特段の理由は付されなかった。

政策の柱⑤ 市民が互いに助け合い学び合うまちづくり

審議未了 ※9月11日に審議予定

政策を執行・実現する行財政運営

審議未了 ※9月11日に審議予定
